



豊かな子

創造的な実践力に富む、心豊かで、たくましい子どもの育成

明るく、思いやりのある子
夢に向かって、自ら学ぶ子
身体を鍛え、最後までやりぬく子



雨の季節、登下校ルートの変化と行動に注意を！

朝からやや強い雨が降る日は、長靴を履く子が増えます。足元が濡れないと校舎内に入っても快適ですね。普段と同じ靴の子は、足を拭くタオルや替えの靴下があるといいですが準備しているでしょうか。先週のニュースで「九州北部地方が梅雨入りしたもよう」と報じられ、いよいよ本格的な雨の季節がやってきました。

さて、本校では下校時に普段より注意が必要な際、状況に応じて以下の3パターンの対応を準備していますが、先週金曜日はそのうち、「B 全校集団下校」を行いました。

A 学年下校

児童玄関前で下校コース(色別)ごとに整列し、簡単な注意をして下校させます。

(※1年生が毎日行っている方法です。2年生以上も必要に応じて実施します)

B 全校集団下校【6/5実施】

差し迫った危険はないものの、その後の天候悪化などが予想される前に、全校へ注意喚起を行い、担当教員が引率して下校コースごとに集団で下校させます。

C 学校・教室待機

天候の急変や、事故・犯罪の発生など、子どもだけでは安全に下校させられない状況の場合、迎えに来られた保護者の方に直接引き渡すまで、学校待機とします。

ただ天気が良い日に集団下校をすると、子どもたちの中にはどうしても「遠足気分」になってしまう子がいます。そのため、下校前に体育館に集まり、担当教員から「なぜ集団で帰るのか」について、次の3点を指導しました。

【集団下校の3つの目的】

- ①互いに危険な状況を知らせたり、危険な行動を注意し合ったりできる。
- ②何かあった時に助け合ったり、周囲の大人に知らせたりできる。
- ③地域や通行する人に、子どもたちの存在(集団)を認識してもらいやすくなる。

⚠️ ご家庭へのお願い：地域の危険個所について ⚠️

ご承知のように、本校は田畑や河川に囲まれた低地に位置しています。さらにこの時期は、田植えのために田んぼや水路に水が満ちており、ちょっとした雨でもすぐに増水し、流れも速さを増します。増水してごうごうと流れる水路をのぞき込んだり、傘を差し込んだりする行為は、命に関わる重大事故につながる非常に危険な行為です。

学校でも繰り返し指導してまいりますが、ぜひご家庭でも、雨の日の安全な歩き方や、危険な場所への近づき方について、今一度ご指導をお願いいたします。